

令和7年3月定例会記者会見 市長あいさつ

各記者の皆様におかれましては、ご多忙のところ ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

それでは、3月定例会の日程及び、主な議案の内容について、ご説明いたします。

まず、会期は、来週2月17日から、3月21日までの33日間の予定です。

このうち、「令和7年度当初予算案」につきまして、ご説明申し上げます。

令和7年度の予算編成にあたりましては、引き続き物価高騰の影響が続く中で、本市が掲げる『みんなでつくる みんなが輝くまち あげお』を実現していくため、「デジタル行政への着実な対応」、「住民の命を守るための防災・減災対策の充実・強化」、「将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進」の3つの基本方針を掲げ、各事業の必要性・緊急性などの観点から優先順位を見極めつつ、ワイズスペンディングを徹底しながら予算編成を行いました。

その結果、一般会計の予算規模は、884億2千万円で、対前年度比12.1%の増となっております。

それでは、基本方針に基づいた具体的内容をご説明してまいります。まず「デジタル行政への着実な対応」では、本庁舎1階、受付窓口のモニターに待ち時間を表示し、順番が近づいたらメールでお知らせするなど、待ち時間の「見える化」を図るため、新たに窓口発券システムを導入いたします。

さらに、各部署に分散されるマイナンバーに関する業務を集約するとともに、今後増加が見込まれるマイナンバーカードの更新手続きに対応するため、新たに専門部署として、「マイナンバー・パスポートセンター」を設置し、オンライン窓口の

増設やコールセンターの拡充など窓口体制の刷新を図り、市民の利便性向上とともに業務の効率化を推進してまいります。

次に「住民の命を守るための防災・減災対策の充実・強化」では、災害時に地域防災の要(かなめ)となる「防災士」を年間80名養成し、地域防災力のさらなる強化を図ってまいります。

また、雨水流出抑制施設整備など、市民の命と暮らしを守るため、ソフト・ハードの両面から、災害に強いまちづくりに向けた取組を引き続き推進してまいります。

最後に、「将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進」でございます。

まずは、子育て環境の充実として、本年4月にオープンする市内3か所の民間保育所に対する運営費の給付をはじめ、瓦葺地区の民間保育所整備や放課後児童クラブの2か所の整備を支援するなど、増加する保育需要にしっかり対応してまいります。

つぎに、これまでも上尾版ネウボラとして、妊娠から子育て期にわたる切れ目のないサポートを行ってまいりましたが、本年4月に母子保健と児童福祉の統合を図るための組織改正を行い、新たに将来の妊娠・出産のための支援や親子関係形成支援など、子育て支援をさらに拡充し、子育て世帯がより住みやすい環境づくりをしっかりと進めてまいります。

また、小・中学校へのエアコン設置については、全ての小中学校の普通教室、保健室、そして体育館にエアコンを設置してまいりましたが、さらに特別教室へのエアコンの設置を進めてまいります。

このほか、「学校施設更新計画に基づく取組」を推進し、教育環境をさらに充実させてまいります。

活力と賑わいの創出としては、市内循環バス「ぐるっとくん」の増便を図るとともに、環境に配慮した EV バスを6台導入いたします。

また、荒川堤防の利活用に向けた「平方地区のかわまちづくりの社会実験イベント」などを地元の皆様と一体となって継続的に開催し、賑わいの創出に取り組んでまいります。

地球温暖化対策としては、CO2排出量の削減に向けた取り組みとして、事業者向けの照明器具の LED 化などに対する補助制度を創設するほか、市民向けの再エネ・省エネ活動に対する奨励金の予算を増額いたします。

市民の皆様の健康増進の取組としては、昨年7月から運用し、登録者がすでに6,500人を超えている、上尾市独自の健康ポイントアプリ「あげお健康ぷらす」の取組拡大を行います。

このアプリについては、現在多くの皆様に楽しみながらご利用いただいておりますが、全ての公民館にアプリと連携可能な体組成計を配置し、利便性をさらに向上させるほか、アプリの PR を強化するなど、引き続き、市民の健康づくりのための施策を全庁的に展開してまいります。

公共施設マネジメント・安全安心なまちづくりの推進では、西貝塚環境センターの基幹的設備改良工事や総合福祉センターのリニューアルオープンに向けた整備などに取り組む、市民の皆様が今後も安心して暮らせる取り組みを進めてまいります。

私からは以上でございますが、議案並びに諸報告については、担当部長から説明いたしますので、よろしくお願い申し上げます。